

平成16年度

経営の重点課題と効率化への取り組み

～ お客様の満足と信頼を第一に ～

平成16年3月



はじめに

日頃、皆さまには、当社の事業運営に格別のご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございます。

当社はこれまで、皆さまの日常生活や産業活動に欠くことのできない電気を、安定的かつ効率的にお届けすることが当社に課せられた社会的使命と考え、事業運営に努めてまいりました。

こうした中、電気事業におきましては、小売自由化範囲の拡大などさらなる競争の進展に加え、地球温暖化などの環境問題への対応も喫緊の課題となっております。さらには、エネルギー資源の乏しいわが国の実情を踏まえたエネルギーセキュリティの確保も、今後、ますます重要になってくるものと考えております。

当社は、こうした時代環境のなか、お客さまの満足と信頼を第一に、経営の効率化やお客さまサービスの充実、環境保全、電力の安全・安定供給などの諸課題に、迅速、果敢に取り組み、皆さまのご期待に応えてまいり所存です。

本冊子は、このような考えのもと、当社の重点課題や経営目標、経営効率化に向けた諸施策についてとりまとめたものです。

是非ご高覧いただき、ご意見、ご感想などをお寄せいただければ幸いです。

平成16年3月

四国電力株式会社

目 次

当社をめぐる経営環境	1
経営の総合目標	4
経営の重点課題	
1．お客さまの満足のために	5
2．お客さまにより一層信頼していただくために	9
「よんでん効率化計画」	13
1．効率的な設備形成と運用に努めます	14
2．業務の効率化、組織の活性化を目指します	16
3．さまざまな分野で効率化を推進します	17

当社をめぐる経営環境

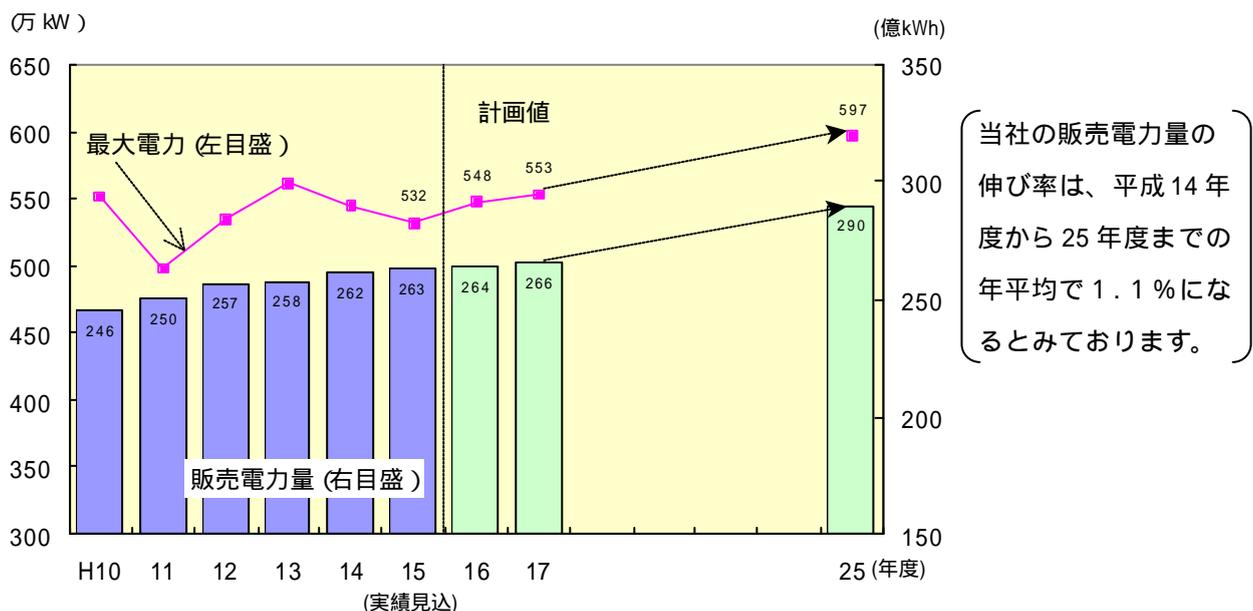
わが国では、本格的な景気回復が依然として厳しい状況にある中、引き続き経済・産業・社会のあらゆる分野で、規制緩和をはじめとする構造改革への取り組みが進められております。

一方、電気事業においては、昨年6月に電気事業法が改正され、その後の検討において、新たな電気事業制度改革の実施に向けた詳細設計がほぼ固まりました。

今回の制度改革は、お客さまの選択肢拡大を目的とした小売自由化範囲の拡大をはじめ、全国大での電力取引の活発化と競争を促すための卸電力取引市場の整備や振替供給料金の廃止など、これまでの競争環境をさらに加速させる内容であり、当社としても、従来の発想を自ら転換し、この難局を乗り切っていかなければならないと考えております。

また、今後の当社の販売電力量を見ると、電力市場における競争の拡大に加え、製造業の海外シフトなど経済・産業構造の変化や域内人口の減少傾向、さらには省エネ機器の普及等により、中長期的に伸び率が鈍化することは避けられない状況にあります。

<参考> 販売電力量の見通し



一方、地球環境問題に関しては、京都議定書で設定されたわが国のCO₂排出抑制目標を達成するため、これまで以上により具体的で実効性のある取り組みが求められております。

こうした状況に加え、昨今の企業不祥事の例を引くまでもなく、企業が今後とも事業活動を継続していくに当たっては、何よりもまずしっかりとした遵法意識と倫理観を持つことが不可欠となっており、当社では、そのための組織も整備いたしました。

このように、当社を取り巻く経営環境は激変しておりますが、電力の安定供給や環境保全といった電気事業者としての基本的使命の重要性は今後も変わることはありません。むしろ、自由化が進展する中でその重みは一層増してくるものと考えております。

当社といたしましては、「お客さまの満足と信頼なくしてよんでんグループの発展はない」との旗印のもと、

- ・事業運営のあらゆる面で「お客さま指向」を徹底し、お客さまの期待やニーズを的確に捉えたサービスの提供にグループの総力を挙げて取り組んでいくこと
- ・電力の安全・安定供給やエネルギーセキュリティの確保、環境保全などに、公益事業として、また、地域に根ざす企業として、社会的責任を全うすること

といった諸課題に積極果敢にチャレンジし、電気事業制度や経営環境がどう変わろうとも引き続きお客さまから選んでいただける企業グループを目指してまいります。



お客さまの満足のために
お客さまにより一層信頼していただくために

よんでんグループビジョン

以上のような環境認識のもと、よんでんグループがお客さまに選択される企業グループを目指し、将来に向かって飛躍していくための羅針盤として、「2010年よんでんグループビジョン」を作成いたしました。その概要は以下のとおりです。

グループミッション(存在意義 使命)

エネルギーを中心として、
人々の生活に関わるさまざまなサービスを、
高い品質で提供し続けることにより、
快適 安全 安心な暮らしと地域の発展に貢献します

グループビジョン
~ 2010年に向け目指すべき企業グループ像 ~

暮らしを支える マルチユーティリティ企業グループ

四国地域を基盤に、お客さまから最も信頼されるパートナーとして、エネルギーから情報通信、ビジネス・生活サポートまで、多様なサービスをワンストップで提供できる企業グループへの変革・成長を目指します

総合エネルギー

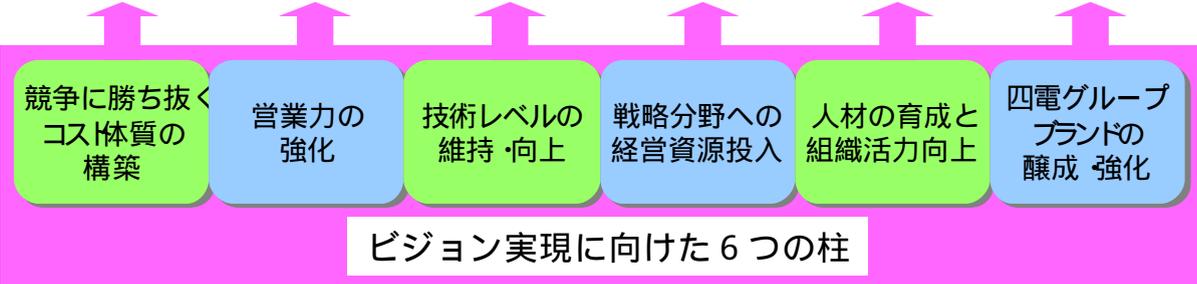
情報通信

- 光ファイバー網を基盤とした情報・通信 映像統合サービス
- IP電話 / SP / 電子認証
- 医療 自治体向けサービス

- 電気事業
- エネルギーコンサルティング / ESCO
- ガス供給
- 分散型電源, 新エネ
- 海外コンサル 発電事業

ビジネス・生活サポート

- 環境・サイクル
- 介護・福祉
- 住宅関連サービス
- 水道・PF事業



経営の総合目標

当社では、電力小売の自由化範囲拡大など、今後さらに厳しさを増す経営環境のもと、経営活動の成果を総合的に評価するための指標として、以下の具体的な数値目標を掲げ、その達成に向け、グループを挙げて取り組んでまいります。

総資本営業利益率(ROA)・・・収益性をはかる指標

目 標：4%以上(連結・16～18年度平均)

効率化の徹底や営業力強化、資産の圧縮等を着実に進めることにより、収益力と資産効率の向上に努めます。

<参考>
$$\text{総資本営業利益率(\%)} = \frac{\text{営業利益}}{\text{総資本(総資産)}} \times 100$$

株主資本比率・・・安定性をはかる指標

目 標：30%程度(連結・18年度末)

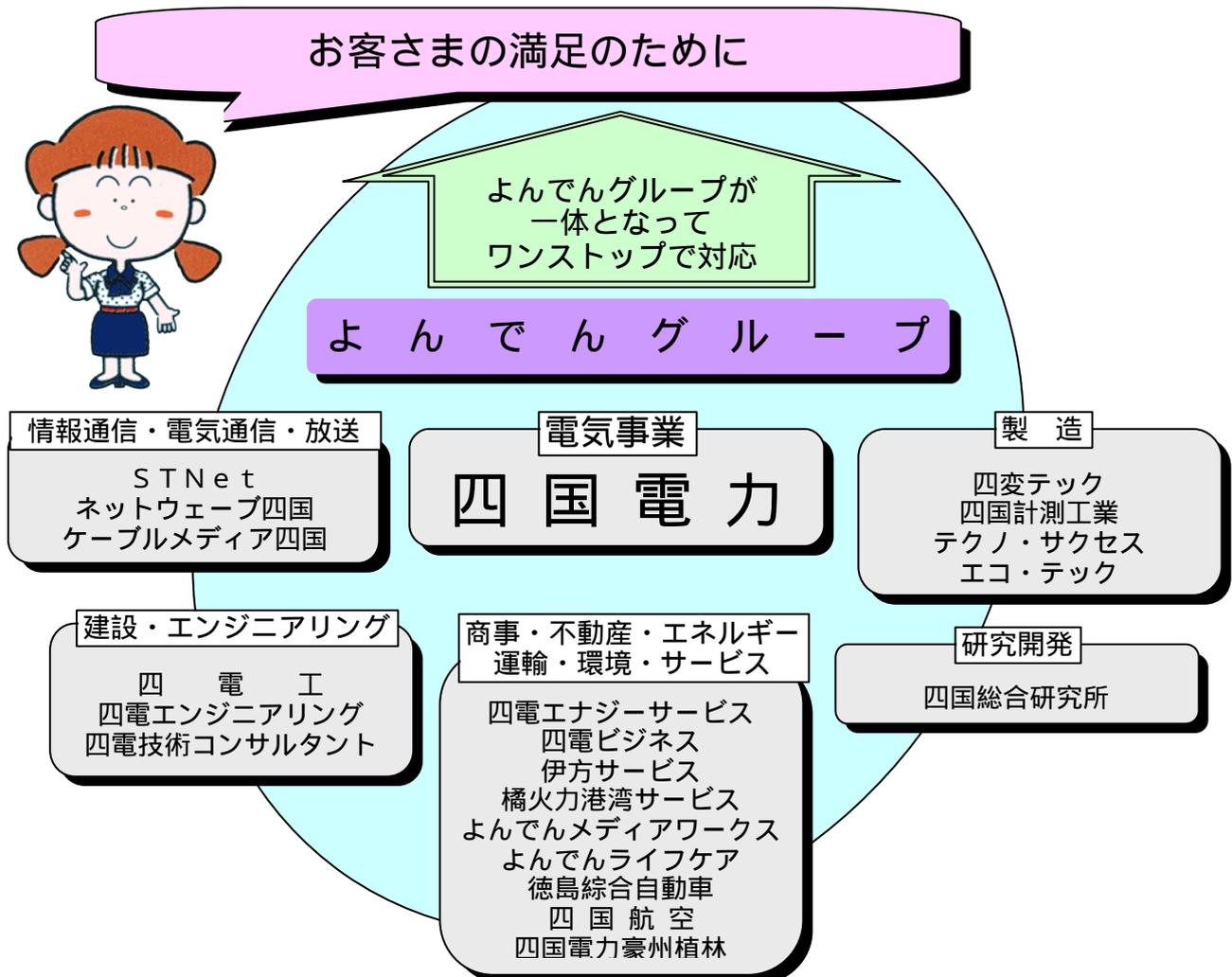
経営の安定性向上に向け、引き続き有利子負債の削減を進めることにより、株主資本比率の着実な上昇に努めます。

<参考>
$$\text{株主資本比率(\%)} = \frac{\text{株主資本}}{\text{総資本(総資産)}} \times 100$$

経営の重点課題

1. お客様の満足のために

よんでんグループは、四国地域においてお客さまから最も信頼されるパートナーとして、電気を中心に広くエネルギーに関することから、情報通信、生活サポートまで、皆さまの日頃の生活に関わるさまざまなサービスを、高い品質でお届けすることを目指します。これらのサービスを、よんでんグループが一体となってワンストップでお届けすることにより、皆さまの快適・安全・安心な暮らしと地域の発展に貢献したいと考えています。



(1) お客さまのベストパートナーとして、電気やエネルギーに関するさまざまなサービスをお届けしてまいります。

当社はこれまで、社会のすみずみまで広くいきわたり、暮らしや産業の基盤となる電気を安定的かつ効率的にお客さまにお届けするとともに、エネルギーに関するさまざまなサービスを提案してまいりました。

今後とも、エネルギーについてのお客さまのベストパートナーを目指し、より一層ご満足いただけるサービスをグループを挙げてお届けしてまいります。

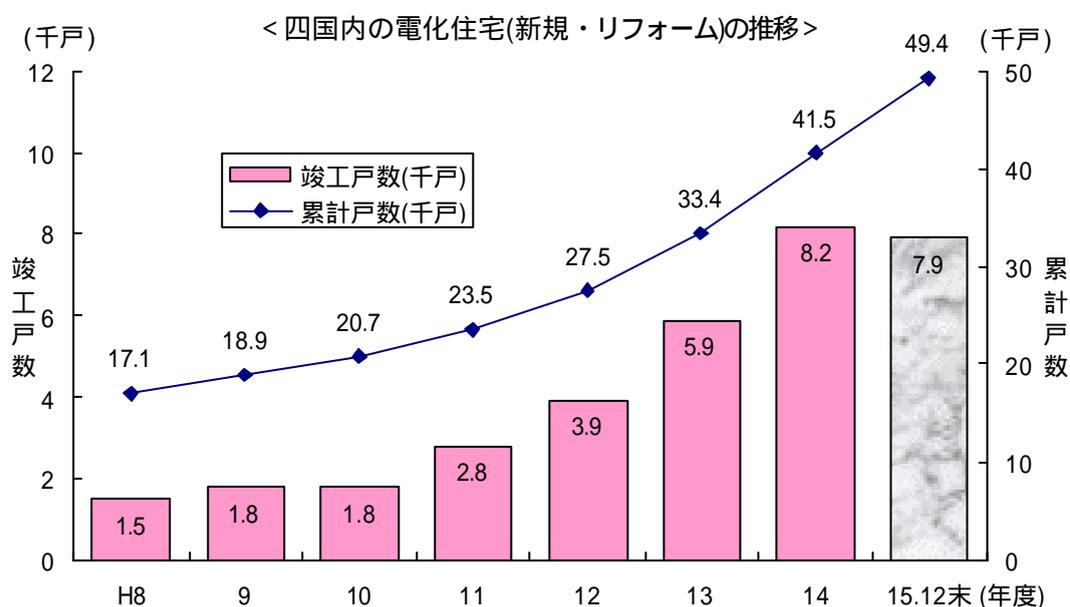
電気を利用した快適な暮らしづくりをお手伝いします

お客さまの快適性指向の高まりや住宅の高品質化により、IHクッキングヒーターなどの電気調理器、電気温水器、エアコンなどを兼ね備えた電化住宅に対する関心が高まっております。

よんでんグループでは、電化住宅の快適性や経済性^(*)をご理解いただくためのさまざまな取り組みを進めています。その結果、15年12月末現在で、約5万戸のお客さまに電化住宅を選択していただいております。

(*)電化住宅にお住まいのお客さまには、「エコノミeプラン」がお勧めです。

「電化Deナイト(季節別時間帯別電灯)」&
「e割(全電化住宅割引)」のお得なセット契約



エネルギー利用に関する提案・サービス活動を展開しています

エネルギー利用に関して業務用や産業用のお客さまが抱える技術的課題に対して、よんでんグループの技術力を活用して、より良い解決策を提案させていただく「技術サポート活動」を展開しております。

技術サポート活動の様子

専門分野の技術者が、お客さまごとの専任営業担当者とともにお客さまを個別訪問し、お悩みやご要望をお伺いします。

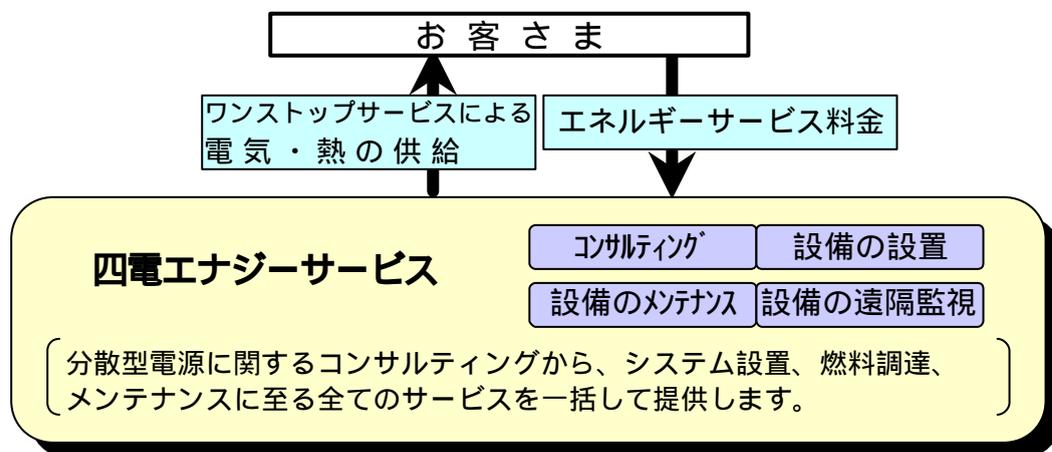
お客さまの抱える技術的課題に応じて、雷などによる瞬時電圧低下対策や設備保全対策、省エネルギー対策など、さまざまな提案を行っています。



<お客さまの工場での負荷実態調査>

また、エネルギー利用に関するお客さまのご要望に幅広くお応えしていくため、「四電エナジーサービス」では、お客さまの構内に電源設備を設置し、経済的に電気や熱を供給する「分散型電源事業」にも取り組んでいます。

分散型電源事業の概要



(2) 情報通信や生活支援など、さまざまなサービスで お客様の快適ライフをサポートします。

よんでんグループでは、人材、設備、技術などのグループの経営資源を有効に活用して、電気やエネルギーはもとより、情報通信から生活支援まで、お客様のお役に立てるようさまざまな取り組みを進めております。

個人向け光通信事業（FTTH事業）への参入

超高速で大容量データを送受信するブロードバンド時代の到来に対応して、情報通信事業中核会社「STNet」が、新たに個人向け光通信事業（FTTH= Fiber To The Home）に16年10月を目途に参入します。

サービスの概要：インターネット接続サービス、IP電話サービスなど
光ファイバによる高速・大容量通信サービス

サービスエリア：サービス開始時には、高松市、徳島市、高知市、松山市の4市内とし、
・高松市は市内ほぼ全域
・徳島市、高知市、松山市は、市内中心部で、世帯数
でみて全体の約半数
をサービスエリアとする予定。

介護ビジネスへの取り組み

地域に根ざした新規事業の一つとして、高齢者介護ビジネスを行う「よんでんライフケア」を設立し、15年10月には、松山市に第1号施設として有料老人ホーム「アミーユよんでん道後」がオープンしました。

さらに、16年10月を目途に、高松市にも新たに有料老人ホームを開設する予定です。



<アミーユよんでん栗林完成予想図>

2 . お客さまにより一層信頼していただくために

(1) 安全に安定的に電気をお届けしてまいります。

四国地域のエネルギー供給を担う企業として、内外のエネルギー情勢や地球環境問題などにも配慮しながら、将来にわたってバランスのとれた電源構成を確保し、安定的で効率的な電力供給を継続してまいります。

水力発電は、貴重な国産エネルギーであり、環境にも優しいことから、年間を通して効果的に活用してまいります。

火力発電は、発電量の調整が容易であるといった機動性を有しており、環境対策に十分配慮しつつ、効率的な運転に努めてまいります。

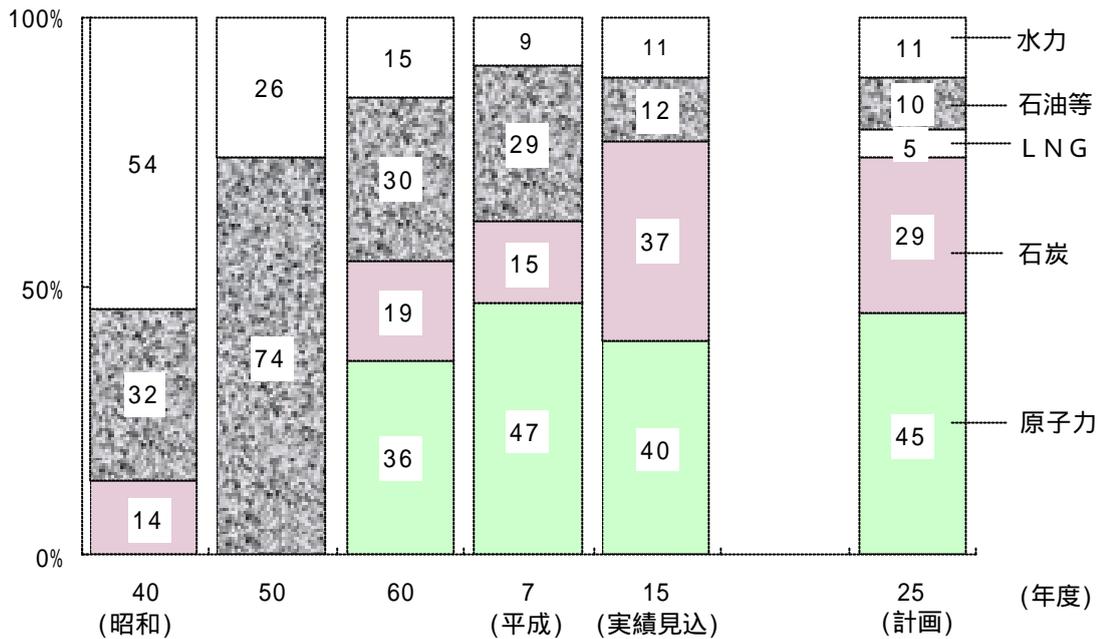
また、石炭や石油に比べCO₂排出量が少なく環境に優しいLNG（液化天然ガス）を、平成22年度を目途に導入し、坂出發電所の1号機と4号機の燃料をLNGに転換いたします。

原子力発電は、当社の電力供給の中核を担う電源であるとともに、発電時にCO₂を出さないなど環境面にも優れていることから、今後とも安全かつ安定的に運転してまいります。そのためにも、

- ・何よりもまず安全面での管理を厳格に実施すること
 - ・そして皆さまへの積極的な情報公開を行うこと
- を徹底してまいります。

当社の電気の品質は、世界的にも最高レベルにあります。今後とも、発電設備や電力輸送設備等への新技術・新工法の導入やきめ細かな保守点検により、現在の水準を維持するように努めてまいります。

エネルギー源別発電電力量構成比の推移



原子力について皆さまにご紹介しています



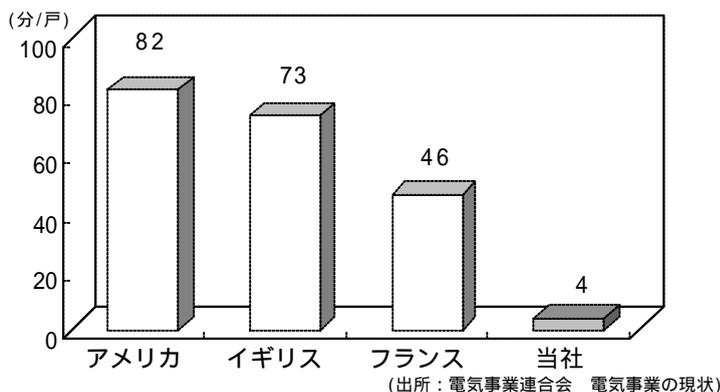
<伊方ビジターズハウス>



<当社ホームページ：原子力情報>

諸外国と比較した1軒あたりの年間事故停電時間数

(当社は平成14年度、諸外国は平成12年実績)



(2) 環境優良企業を目指してまいります。

当社は、地球温暖化などの環境問題を経営の重要課題として捉え、環境保全のためのさまざまな取り組みを進めています。

地球温暖化問題への取り組み

<原子力の安全・安定運転の継続など設備・運用面でのCO₂削減策の実施、新エネルギーの活用、世界銀行炭素基金への出資 など>

よんでんグループとしての環境管理の推進

<当社全事業所への環境マネジメントシステム(EMS)の導入・定着、グループ各社本店へのEMS導入 など>

資源循環型社会への取り組み

<ゼロエミッションを目指した、廃棄物の減量化や有効利用の促進 など>

なお、これらの活動の取り組み状況については、「よんでん環境保全活動レポート」として取りまとめ公表(当社ホームページ上にも掲載)しております。

新エネルギーの活用

太陽光や風力などの新エネルギーは、自然条件に左右されるなど、まだ多くの課題がありますが、発電時にCO₂を排出しない貴重なエネルギーです。当社は、自ら太陽光発電(松山)、風力発電(室戸)に取り組むほか、お客さまが新エネルギーで発電した電気の購入も行っています。

<木質バイオマス発電試験>

また、当社では、製材過程で発生する樹皮などの木材副産物(木質バイオマス)を発電用燃料として有効利用する取り組みを進めています。これにより、石炭消費量を抑制するとともにCO₂排出量の削減を図ることができます。

平成15年度には、当社西条発電所において、木質バイオマスと石炭を混合して燃焼し、発電する実証試験を行いました。その結果を踏まえ、平成17年度からの本格運用を目指しています。



<西条発電所と木質バイオマス(右上)>

(3) お客さまとのふれあいを大切にします。

当社は、お客さまとのふれあいを大切にし、地域の皆さまに親しまれ、信頼される企業を目指しています。

ヨンデンプラザ

「ヨンデンプラザ」は、住宅電化機器の体験使用など、当社の電化提案の拠点として活用しているほか、料理教室や各種イベントの開催を通して、ふれあい・交流などの場として地域の皆さまにご利用いただいております。



(現在、高松,高知,徳島,松山,池田,新居浜,中村の各支店に設置)

平成 16 年 3 月 30 日には、新たに「ヨンデンプラザ・サンポート」が、高松シンボルタワー内(タワー棟 1 階)にオープンいたしました。

<ヨンデンプラザ・サンポートイメージ図>

いろいろな活動を通して

- ・次代を担う子供たちに科学の素晴らしさを体験してもらうための科学体験イベントの開催
 - ・自治体への街路灯の寄贈や文化財の電気設備点検、清掃奉仕活動
 - ・広く各界からのご意見・ご要望をお伺いする電力懇話会の実施
- など多彩な活動を通じて、地域の皆さまとの交流を進めています。



<子供たちに人気の科学体験イベントの様相>

「よんでん効率化計画」

当社は、これまでも、毎年「よんでん効率化計画」を作成し、発電から電気の輸送・販売にいたる経営のあらゆる分野において効率化に取り組んでまいりました。16年度につきましても、

- 1．効率的な設備形成と運用
- 2．業務の効率化、組織の活性化
- 3．その他のさまざまな分野における効率化の推進

を3つの柱として、今後3カ年を展望した新たな目標を設定し、従来の枠にとられない斬新な発想で、創意工夫を重ねながら、より一層のコスト削減に取り組んでいく所存です。

これら効率化によって得られた成果については、電気料金の引下げやお客さまサービスのさらなる充実のほか、財務体質の強化や適切な配当政策、自己株式消却等を通じて株主の皆さまのご期待にも応えてまいります。

なお、当社は、平成14年10月に電灯電力平均で5.22%の電気料金の引下げを行いました。平成7年以降でみると、計4回の電気料金引下げを実施しており、この間の累計引下げ率は約22%になります。

また、当社の送電ネットワークを介して電気を供給する事業者の方々のために、ネットワーク利用料金についても引下げを行っております。

1 . 効率的な設備形成と運用に努めます

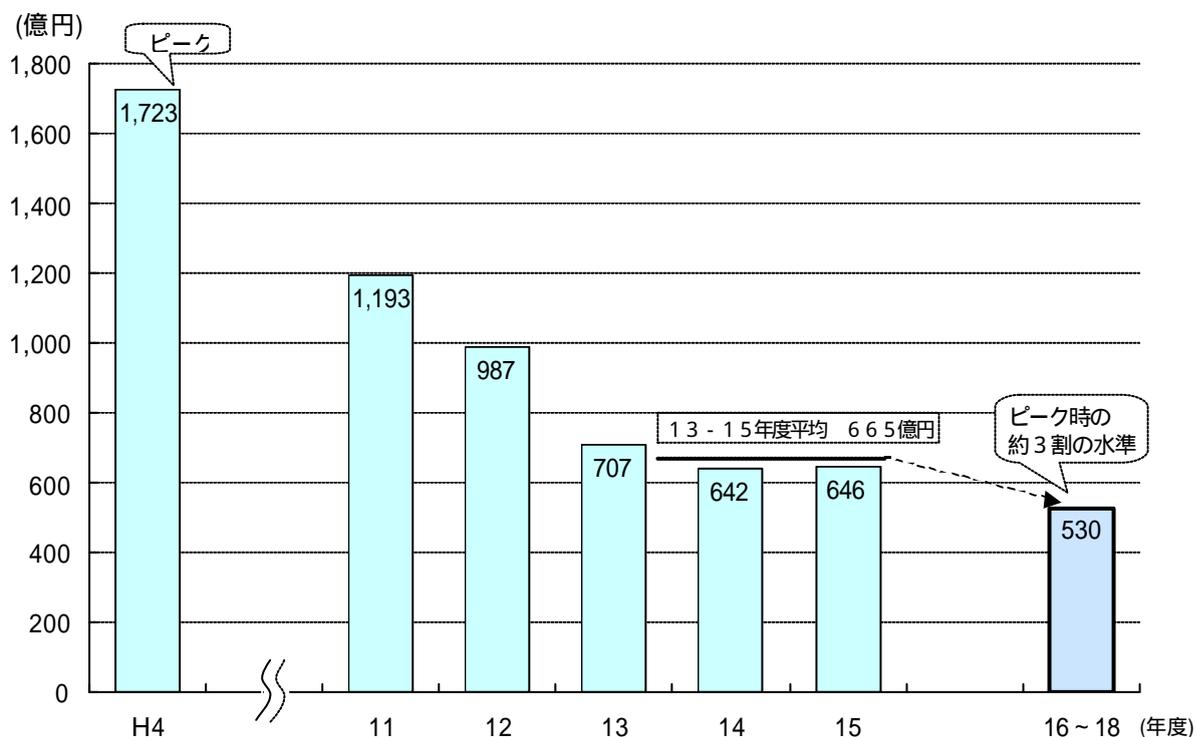
平成16～18年度の設備投資額を、ピーク時(平成4年度)の約3割の水準となる年平均530億円程度に抑制します。

当社は、電力需要の増加に対応して計画的に設備の改良・増強を実施しておりますが、その実施にあたっては、工事を厳選のうえ、設計の合理化や機器仕様の見直しを行うなど、設備投資の削減に向けた取り組みを一段と強化しております。

今後も、引き続き投資の抑制を目指し、平成16～18年度の年平均の設備投資額を、ピーク時の約3割の水準となる530億円程度に抑制します。

(なお、平成16年度の設備投資額は576億円を計画しております。)

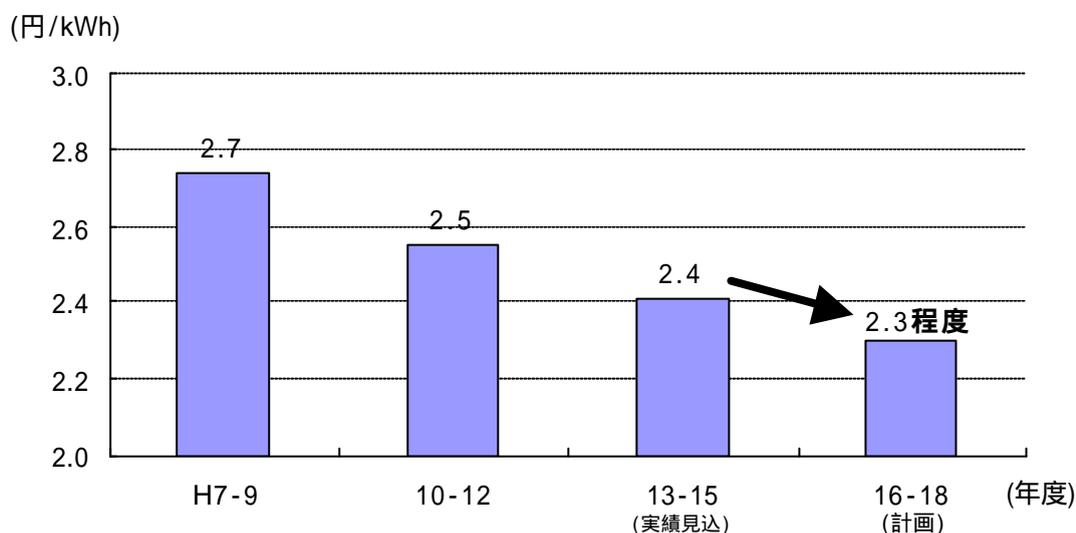
設備投資額の推移



平成16～18年度の間の修繕費(販売電力量あたり)を、平成13～15年度の平均である2.4円/kWhから、年平均2.3円/kWh程度に削減します。

発電所や送配電線の保守・修繕にかかる費用は、設備の拡充や経年化に伴い増加することが見込まれますが、新しい設備診断技術の導入など、最大限の創意工夫を凝らすことにより、供給信頼度を落とすことなく修繕費を削減することを目指しています。

修繕費（販売電力量あたり）の推移



原子力発電所の設備利用率の向上に努めてまいります。

原子力発電所の設備利用率の向上は、コストダウンだけでなく、CO₂排出量の削減にも寄与することから、引き続き、伊方発電所の安全・安定運転を図り、年間設備利用率の向上に努めてまいります。

原子力発電所設備利用率の推移

	13年度	14年度	15年度 (実績見込)	16-18年度平均 (計画)
設備利用率	79.1%	87.9%	84.1%	82%程度

(注1)13年度は3ユニット全ての定期検査が期間内に重なったことにより、一時的に低下したものです。

(注2)経済産業省の認可を受け、14年4月から定格熱出力一定運転を実施しており、これによる利用率向上分は年間で平均約2%です。

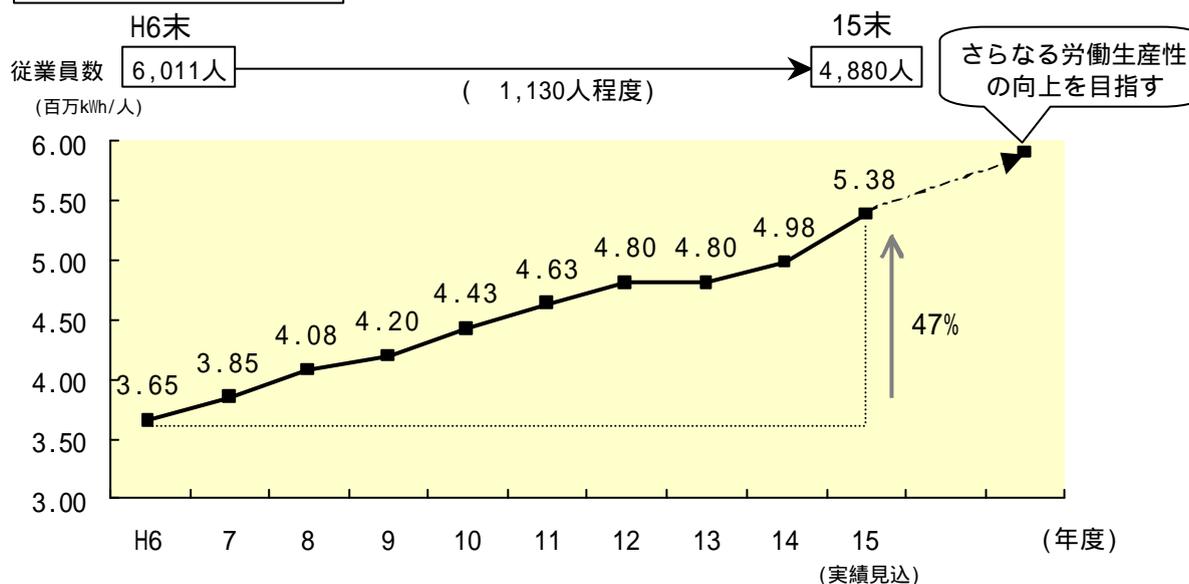
2. 業務の効率化、組織の活性化を目指します

業務運営の効率化や組織の活性化、要員のスリム化を心がけ、さらなる労働生産性の向上に努めてまいります。

当社は、効率的な業務運営に向けた取り組みや組織の活性化・要員のスリム化のための諸施策にいち早く取り組んでおり、その結果、従業員数は平成6～15年度までの9年間で約1,130人（約19%に相当）減少し、この間の労働生産性（従業員1人当たり販売電力量）は約47%向上しております。

今後とも、お客さまサービスの一層の充実を図りながら、情報通信技術の活用による業務運営方法の改善などをグループ大で推し進めることにより、さらなる労働生産性の向上に努めてまいります。

労働生産性の推移



業務運営の効率化・組織の活性化・要員のスリム化のための諸施策

経理、資材調達、人事労務といった業務を、新たに設置するシェアードサービスセンター(SSC)に集約し、業務と人員をグループ大で効率化
グループ大での人材交流促進

新規採用者数の抑制(6年度：193人 10年度：100人 16年度：82人)

転籍制度、自由選択定年制度の活用

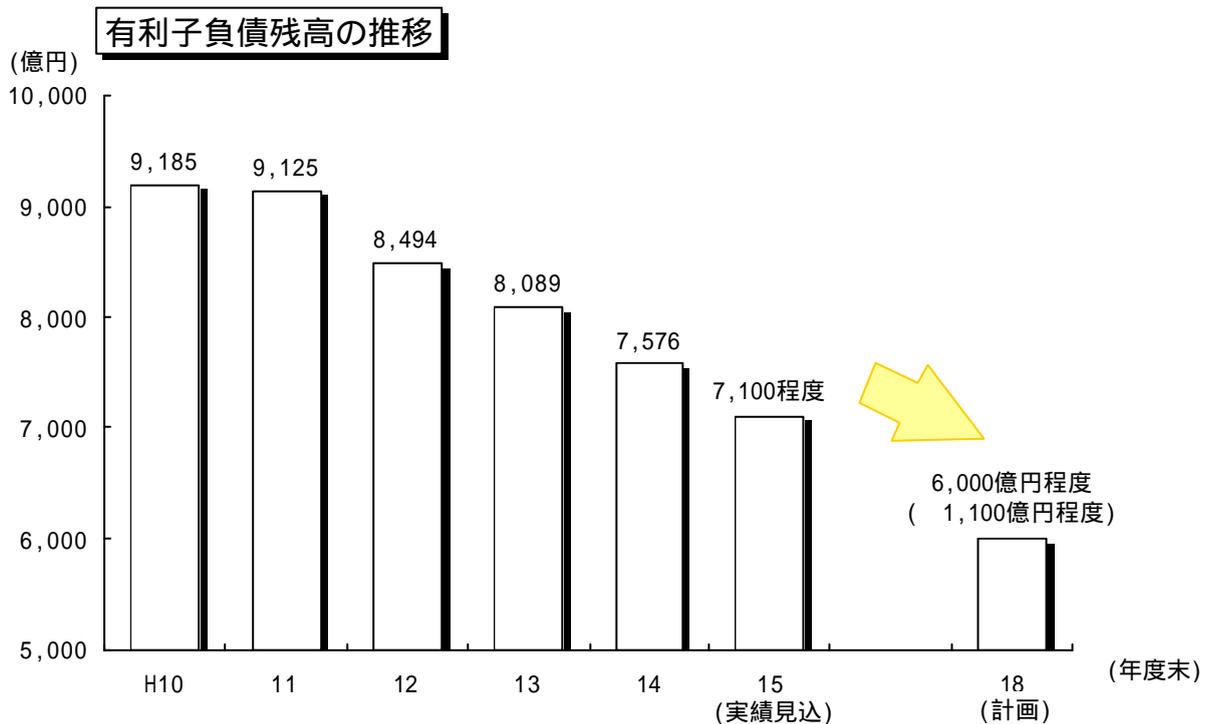
3. さまざまな分野で効率化を推進します

(1) 有利子負債の圧縮と資金調達コストの低減

有利子負債残高を平成18年度末までに
1,100億円程度削減し、6,000億円程度とします。

当社は、大型電源開発の一巡に伴う投資回収や、設備投資の効率化などによって生じる余裕資金を借入金や社債の返済に優先的に充当することにより、有利子負債の削減に積極的に取り組んでまいります。

一方、資金調達にあたっては、金融情勢の変化を十分に見極めながら、一層効率的な調達を進めることにより、資金調達コストの低減に努めてまいります。



(2) 諸経費の節減

平成16～18年度の間、諸経費（販売電力量あたり）を5%程度削減いたします。

消耗品費、賃借料、委託費などの諸経費については、これまでも費用対効果を見極めながら節減に努めてまいりました。

今後につきましても、従来と変わることなく、より一層の創意工夫でコストダウンを徹底してまいります。

(3) 負荷の平準化

長期的に負荷率60%以上の確保を目指します。

電気の使われ方は、季節や時間帯によって大きく変化しております。特にエアコンがフル回転する真夏の昼間の使用量に比べると、深夜の使用量は半分程度です。こうした電力使用の変動幅を小さくすることは、電力設備の効率的な活用につながり、結果として、お客さまのメリットにもなります。

このため当社では、こうした電気の使われ方の変動幅を小さくしていただくための施策、いわゆる「負荷平準化」に取り組んでおります。

具体的な「負荷平準化」への取り組み

お客さまにもメリットとなり、負荷平準化にも役立つ料金メニューの導入（時間帯別電灯、季節別時間帯別電力、蓄熱調整契約 など）
電気温水器や蓄熱式空調システム等の普及促進
地域熱供給事業の拡大

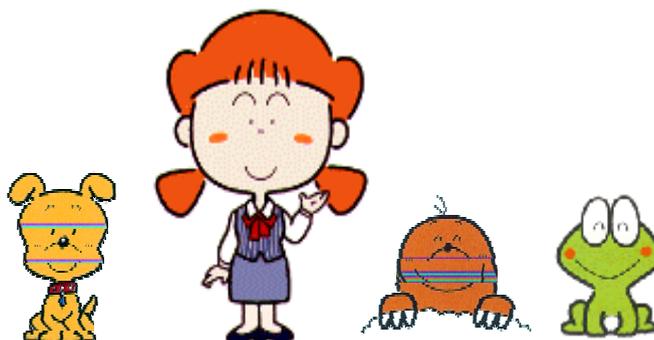
おわりに

当社では、以上のような、さまざまな経営課題に積極的に取り組むことにより、お客さまや株主の皆さまをはじめ、当社を支えていただいているあらゆる方々から信頼され、評価・選択される企業であり続けることができるよう努力してまいります。

皆さま方におかれましては、今後とも当社の事業運営に格段のご理解とご支援を賜われますよう、心からお願い申し上げます。

ホームページアドレス <http://www.yonden.co.jp>

<http://www.yonden.co.jp/m>(携帯電話サイト)



主要事業場

本店	〒760-8573 高松市丸の内2の5	☎ (087)821-5061	-
徳島支店	〒770-8555 徳島市寺島本町東2丁目29番地	☎ (088)622-7121	☎ 0120-564552
鴨島営業所	〒776-0010 麻植郡鴨島町鴨島318-4	☎ (0883)24-1117	☎ 0120-036117
鳴門営業所	〒772-0002 鳴門市撫養町齊田字東発45-5	☎ (088)686-3161	☎ 0120-316120
阿南営業所	〒774-0030 阿南市富岡町滝の下2-1	☎ (0884)22-1220	☎ 0120-161220
牟岐営業所	〒775-0006 海部郡牟岐町中村本村153-9	☎ (0884)72-1126	☎ 0120-111566
池田支店	〒778-8504 三好郡池田町字シマ930番地3	☎ (0883)72-7500	☎ 0120-410778
脇町営業所	〒779-3601 美馬郡脇町拝原1589	☎ (0883)52-1222	☎ 0120-410779
高知支店	〒780-8545 高知市本町4丁目1番11号	☎ (088)822-9211	☎ 0120-410430
田井営業所	〒781-3521 土佐郡土佐町田井966	☎ (0887)82-0453	☎ 0120-410630
山田営業所	〒782-0034 香美郡土佐山田町宝町2丁目1-22	☎ (0887)53-2161	☎ 0120-410782
安芸営業所	〒784-0001 安芸市矢の丸2丁目6-10	☎ (0887)35-3558	☎ 0120-410650
室戸営業所	〒781-7103 室戸市浮津88-3	☎ (0887)22-0058	☎ 0120-410781
中村支店	〒787-8691 中村市大橋通6丁目9番地21号	☎ (0880)34-2161	☎ 0120-410787
須崎営業所	〒785-0004 須崎市青木町7-3	☎ (0889)42-1721	☎ 0120-410785
窪川営業所	〒786-0012 高岡郡窪川町北琴平町2-34	☎ (0880)22-1235	☎ 0120-410786
宿毛営業所	〒788-0001 宿毛市中央2丁目9番17号	☎ (0880)63-2177	☎ 0120-410352
松山支店	〒790-8540 松山市湊町6丁目6番地2	☎ (089)941-6115	☎ 0120-410452
久万営業所	〒791-1201 上浮穴郡久万町大字久万町544-2	☎ (0892)21-0053	☎ 0120-410987
伊予営業所	〒799-3113 伊予市米湊安広824-1	☎ (089)982-0015	☎ 0120-410142
今治営業所	〒794-8708 今治市別宮町1丁目3-1	☎ (0898)32-3980	☎ 0120-410540
宇和島支店	〒798-0033 宇和島市鶴島町1番28号	☎ (0895)22-4733	☎ 0120-410582
城辺営業所	〒798-4131 南宇和郡城辺町甲2287	☎ (0895)72-0004	☎ 0120-410523
八幡浜営業所	〒796-0037 八幡浜市川通1460-125	☎ (0894)22-2255	☎ 0120-410796
東宇和営業所	〒797-0015 西予市卯之町4丁目549	☎ (0894)62-1255	☎ 0120-410830
大洲営業所	〒795-0052 大洲市若宮535-2	☎ (0893)24-2135	☎ 0120-410795
新居浜支店	〒792-0023 新居浜市繁本町9番32号	☎ (0897)37-2101	☎ 0120-459789
西条営業所	〒793-0027 西条市朔日市300-1	☎ (0897)56-2960	☎ 0120-102960
三島営業所	〒799-0413 四国中央市中曾根町1680-1	☎ (0896)23-4430	☎ 0120-054430
高松支店	〒760-8501 高松市亀井町7番地9	☎ (087)831-4141	☎ 0120-410761
大内営業所	〒769-2601 東かがわ市三本松1739-3	☎ (0879)25-2171	☎ 0120-410712
観音寺営業所	〒768-0060 観音寺市観音寺町1542-1	☎ (0875)25-1110	☎ 0120-410768
坂出営業所	〒762-0007 坂出市室町2丁目4-15	☎ (0877)46-5151	☎ 0120-410740
丸亀営業所	〒763-0034 丸亀市大手町3丁目2-1	☎ (0877)22-5111	☎ 0120-410763
東京支社	〒100-0005 東京都千代田区丸の内1丁目3番1号 東京銀行協会ビルディング18階	☎ (03)3201-4591	☎ -

(注)平成16年4月1日時点

地域と共に生き 地域と共に歩み 地域と共に栄える



四国電力株式会社